

第3回検討会議

医療機能等に係る議論

### 【概要】

- ・地域ニーズに応じた医療の提供、二次救急医療（24時間365日）、地域包括ケアシステム構築支援、その他の機能（災害医療、原子力災害医療、感染症への対応）
- ・小児医療、周産期医療、精神疾患への対応について検討

### 【機能に係る主な意見】

- ・高齢者が先に帰還する傾向があることから、その点を踏まえて診療科を検討いただきたい。
- ・福島国際研究教育機構の取組や先端医療との関わりを視野に中核的病院の機能を検討いただきたい。
- ・人工透析について、民間医療機関が進出しない場合は、遠隔診療含めて対応願う。

第4回検討会議

- ①医療機能（資料1）
- ②病床規模（資料2）
- ③診療科（資料3）

医療機能概要（資料4）

地域に必要な医療機能

地域に根差した医療を目指す

地域ニーズに対応した医療の提供

- ・子どもから高齢者まで地域のニーズに応える医療（一般外来・入院等）の提供
- ・周産期医療・小児医療・精神医療については、相馬地域やいわき市などの専門拠点医療機関と連携し役割を分担しながら、安全で最適な診療体制の確保に努める。

地域包括ケアシステム構築支援

回復期患者の受入や在宅医療により、在宅復帰や日常生活の継続支援、再発予防の治療などに対応

救急医療の提供

二次救急医療機関として、24時間365日、救急患者の受入れに対応し、救急医療（初期診断及び一定程度の入院治療）を提供

災害時における医療

- ・災害拠点病院の指定や必要な施設・設備整備
- ・原子力災害医療協力機関の登録や必要な施設・設備整備

新興感染症等への対応

第二種感染症指定医療機関の指定や感染症への対応に必要な施設・設備整備

基本的な医療機能

多目的医療用ヘリの運用

ICT技術の積極的な活用

上記機能を果たすため、必要な設備・装備を整備し活用する。

### 中核的病院の病床規模

中核的病院において想定される患者層や病床利用率を踏まえ、**病床規模を250床前後と試算。**

双葉地域の想定入院患者数(500人程度)※1 × 対象患者層割合(4割程度)※2 ÷ 病床利用率(80%)※3=250床前後

※1 患者数算定の基礎となる人口規模については、双葉郡の各町村がこれまで策定した復興計画等で想定している人口約32,000人（2035年頃）を基本に、福島イノベーション・コースト構想の更なる推進や移住等の促進など、復興関連施策の進展に伴い、新たに転入が見込まれる人口を加味した38,000人余りと仮定した。当該人口規模に、全国の受療率（人口10万人当たりの入院患者数）を乗じることで、想定患者数を算出した。

※2 KDB入院状況の分析結果と中核的病院の医療機能や診療科から試算した割合

※3 厚生労働省「地域医療構想ガイドライン」における設定値や他病院の事例を参考に設定した。

#### 病床機能

病床区分	医療機能	
一般病床	急性期機能	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けた医療を提供
	回復期機能	急性期を経過した患者に対し、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供
感染症病床	感染症患者の受入	

### 開院時の病床

令和2年国勢調査の人口(双葉地域)による入院需要を踏まえ、**100床前後を想定。**

想定患者数(200人程度) ※ × 対象患者層割合(4割程度) ÷ 病床利用率(80%)=100床程度

※令和2年国勢調査における双葉地域の人口(1万6千人程度)に全国の受療率（人口10万人当たりの入院患者数）を乗じて算出



### 想定診療科 20科

内科(循環器、消化器、糖尿病、呼吸器)			総合診療科※1	
外科	整形外科	脳神経外科	救急科※2	眼科
泌尿器科	皮膚科	耳鼻咽喉科	産婦人科	小児科
精神科	麻酔科	放射線科	リハビリテーション科	人工透析※3

- ※1 医療法上の標榜(広告)が認められていないため、院内標榜として想定診療科に含む。
- ※2 高度医療や専門医療を要しない二次救急や休日夜間など地域の医療機関が開院していないときの急病、原子力災害医療への対応。
- ※3 双葉地域の医療体制の整備状況(民間医療機関等での診療状況)を踏まえて対応。
- ※4 開院時の入院対応は、内科、外科、整形外科を想定。(救急医療対応時における一定程度の入院も想定。)

【参考】診療科については、全国の受療率による傾向、入院・外来状況の医療レセプト分析結果、県ふたば医療センター附属病院の受療動向、福島県版健康データベース分析結果に基づき設定

安全で最適な診療体制を確保するため、特に専門・拠点医療機関との連携・役割分担が必要なもの

#### 周産期医療

**妊婦検診や婦人科の外来対応とする。**  
分娩は、相馬地域やいわき市などの医療機関と連携する。

※地域の医療体制や医療需要を見ながら診療開始時期を判断する。

#### 小児医療

- ・地域の医療機関と連携し、**小児医療や夜間休日などの初期小児救急医療の外来対応**とする。
- ・入院を要する救急医療、救命救急医療については、相馬地域やいわき市などの医療機関と連携する。

#### 精神医療

- ・精神医療に関する国の方向性「**入院医療中心から地域生活中心へ**」を踏まえ、**外来対応**とする。
- ・入院については、相馬地域やいわき市などの医療機関と連携する。

#### 院内処方について

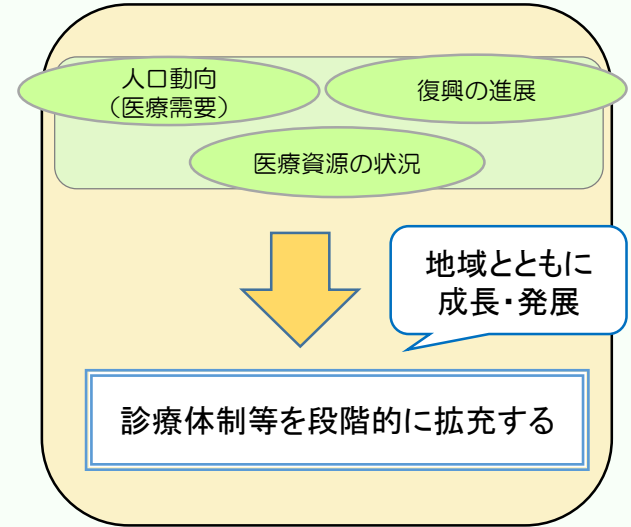
- 双葉地域の調剤薬局は、令和5年4月現在で、2か所(檜葉町、広野町)
- 調剤薬局の開設状況を見ながら、院内処方の必要性を検討する。

## コンセプト①：地域に密着し、連携の核となる病院

**地域に根差した医療**      地域や隣接地域の医療機関との相互連携を強化し、地域のニーズに応え、切れ目のない医療を提供するとともに、**地域とともに成長・発展**

想定診療科	内科（循環器、消化器、糖尿病、呼吸器）			総合診療科※	
	外科	整形外科	脳神経外科	救急科	眼科
	泌尿器科	皮膚科	耳鼻咽喉科	産婦人科	小児科
	精神科	麻酔科	放射線科	リハビリテーション科	人工透析

※ 院内標榜



想定病床

**250床前後**

※開院時は、100床前後を想定



医療機能

- 地域ニーズに対応した医療
- 救急医療の提供
- 災害時における医療（原子力災害医療を含む）
- 地域包括ケアシステム構築支援
- 新興感染症等への対応
- 多目的医療用ヘリ
- スマートホスピタル

## コンセプト②：地域の発展に貢献し、医療従事者に魅力ある病院

**地域の発展への貢献**      ・福島国際研究教育機構（F-REI）の各研究分野との連携を視野に、地域の発展に貢献

**医療従事者に魅力ある病院**      ・充実した研究環境（ソフト及びハードの充実）による**医療人材の確保**  
・特色ある教育・人材育成プログラムによる**専攻医や実習生等の受入**